



## 平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社 ケアネット 上場取引所 東  
 コード番号 2150 URL http://www.carenet.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 元泰  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室室長 (氏名) 一政 利郎 TEL 03-5214-5800  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	972	13.0	35	96.0	19	81.8	18	97.4
27年12月期第2四半期	860	—	18	—	10	—	9	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 21百万円 (133.7%) 27年12月期第2四半期 9百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	3.33	3.33
27年12月期第2四半期	1.70	1.69

(注) 決算日の変更(3月31日を12月31日)に伴い、平成26年12月期は平成26年4月1日から平成26年12月31日までの9ヶ月間となっております。これにより、平成27年12月期第2四半期は比較対象となる平成26年12月第2四半期と対象期間が異なるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	1,755	1,399	79.3	256.68
27年12月期	1,723	1,424	82.3	262.80

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 1,392百万円 27年12月期 1,418百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,050	7.2	170	11.0	170	15.6	159	20.2	29.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	5,524,000株	27年12月期	5,495,200株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	97,649株	27年12月期	97,649株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	5,415,360株	27年12月期2Q	5,396,351株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融・経済政策により企業収益に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、急激な円高や新興国を中心に景気の減速傾向が強まるなど、依然として不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客が属する製薬業界においては、大型薬剤の特許切れや薬価制度の変更、ジェネリック医薬品の使用促進などに直面し、製薬企業の営業環境は、厳しい状況が続いております。そのため、製薬企業は、新薬の研究開発や営業・マーケティング活動において、さらなる生産性向上を求めています。また上市される新薬の中心が、生活習慣病薬からスペシャリティ薬に移り変わると予想されるため、製薬企業はスペシャリティ薬に合った新たなプロモーション方法を必要としております。

こうしたニーズに対応するサービスを提供するなか、当第2四半期連結累計期間においては、売上高972百万円（前年同四半期比13.0%増）、売上総利益568百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益35百万円（前年同四半期比96.0%増）、経常利益19百万円（前年同四半期比81.8%増）となりました。これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は18百万円（前年同四半期比97.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

## ①医薬営業支援サービス

当サービスにおいては、既存サービスの販売体制強化などの取り組みを進めるなか、医薬営業支援サービスの売上高は778百万円（前年同四半期比15.8%増）、営業利益は243百万円（前年同四半期比14.5%増）となりました。

## ②医療コンテンツサービス

当サービスにおいては、医師向け教育コンテンツ「ケアネットDVD」及び「その他」の売上高は96百万円（前年同四半期比9.1%減）、医療教育動画サービス「C a r e n e T V」の売上高は96百万円（前年同四半期比18.6%増）となりました。

この結果、医療コンテンツサービスの売上高は193百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は60百万円（前年同四半期比27.5%増）となりました。

また、医師・医療従事者向け医療専門サイト「ケアネット・ドットコム（CareNet.com）」においては、医師会員獲得および維持を目的に、前期に引き続き積極的に投資を行っております。これにより、当第2四半期連結会計期間末の医師会員数は13万人（前年同四半期比3.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加の1,755百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ44百万円増加の1,515百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金197百万円の増加、受取手形及び売掛金136百万円の減少であります。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ12百万円減少の239百万円となりました。これは主に、投資その他の資産12百万円の減少によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ56百万円増加の356百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ56百万円増加の340百万円となりました。主な内訳は、未払法人税等10百万円の増加、ポイント引当金32百万円の増加であります。

また、固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ0百万円増加の15百万円となりました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少の1,399百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ197百万円増加の1,063百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、289百万円（前年同四半期は88百万円の収入）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益25百万円の計上、減価償却費12百万円、為替差損22百万円、ポイント引当金の増加32百万円、売上債権の減少136百万円などによる資金の増加によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、24百万円（前年同四半期は7百万円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出28百万円などによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、46百万円（前年同四半期は31百万円の支出）となりました。これは配当金の支払額53百万円などによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成28年2月12日に公表いたしました業績予想と差異が発生しております。詳細は平成28年8月10日公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

また、平成28年12月期通期連結業績予想につきましては、平成28年2月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## （会計方針の変更）

## （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## （平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	965,745	1,163,741
受取手形及び売掛金	410,211	274,104
たな卸資産	14,919	18,131
その他	80,571	59,836
流動資産合計	1,471,447	1,515,813
固定資産		
有形固定資産	15,710	14,347
無形固定資産	88,171	89,302
投資その他の資産	148,340	136,006
固定資産合計	252,222	239,655
資産合計	1,723,670	1,755,469
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	32,120	25,292
未払法人税等	1,693	11,715
ポイント引当金	152,356	184,663
その他	97,411	118,726
流動負債合計	283,582	340,399
固定負債		
繰延税金負債	1,990	2,046
資産除去債務	13,513	13,620
固定負債合計	15,504	15,667
負債合計	299,086	356,066
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	623,445	627,045
資本剰余金	503,501	507,101
利益剰余金	348,693	312,775
自己株式	△55,868	△55,868
株主資本合計	1,419,772	1,391,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	818	1,231
為替換算調整勘定	△2,127	565
その他の包括利益累計額合計	△1,309	1,796
非支配株主持分	6,120	6,551
純資産合計	1,424,583	1,399,402
負債純資産合計	1,723,670	1,755,469

## （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年1月1日 至平成28年6月30日）
売上高	860,660	972,612
売上原価	316,271	403,858
売上総利益	544,388	568,754
販売費及び一般管理費	526,096	532,894
営業利益	18,291	35,860
営業外収益		
受取利息	657	571
持分法による投資利益	—	6,584
為替差益	2,404	—
雑収入	1,299	423
営業外収益合計	4,362	7,578
営業外費用		
支払利息	1,011	982
持分法による投資損失	10,716	—
為替差損	—	22,954
雑損失	200	0
営業外費用合計	11,928	23,936
経常利益	10,725	19,502
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,000
特別利益合計	—	6,000
税金等調整前四半期純利益	10,725	25,502
法人税、住民税及び事業税	1,900	7,154
法人税等調整額	△168	△140
法人税等合計	1,731	7,013
四半期純利益	8,994	18,489
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△154	431
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,148	18,057

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日）
四半期純利益	8,994	18,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	413
為替換算調整勘定	39	2,692
その他の包括利益合計	247	3,105
四半期包括利益	9,241	21,594
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,396	21,163
非支配株主に係る四半期包括利益	△154	431



## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年1月1日 至平成28年6月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,725	25,502
減価償却費	11,410	12,711
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△6,000
受取利息及び受取配当金	△657	△571
支払利息	1,011	982
為替差損益（△は益）	△2,404	22,954
持分法による投資損益（△は益）	10,716	△6,584
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△30,000	—
ポイント引当金の増減額（△は減少）	16,240	32,306
売上債権の増減額（△は増加）	205,625	136,107
たな卸資産の増減額（△は増加）	402	△3,212
仕入債務の増減額（△は減少）	△5,703	△6,773
未払金の増減額（△は減少）	△25,065	△9,901
未払消費税等の増減額（△は減少）	△55,190	9,209
未払費用の増減額（△は減少）	△36,405	△1,022
前受金の増減額（△は減少）	4,927	33,880
その他	△13,291	49,780
小計	92,341	289,371
利息及び配当金の受取額	677	400
利息の支払額	△1,011	△982
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△3,471	253
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,536	289,042
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	—	△10,061
投資有価証券の売却による収入	—	36,000
有形固定資産の取得による支出	△1,284	△1,368
無形固定資産の取得による支出	△6,742	△28,811
貸付けによる支出	—	△20,000
貸付金の回収による収入	800	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,227	△24,241
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	—	7,200
配当金の支払額	△31,660	△53,707
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,660	△46,507
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,508	△20,297
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	52,157	197,996
現金及び現金同等物の期首残高	830,770	865,745
現金及び現金同等物の四半期末残高	882,927	1,063,741

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	672,323	188,336	860,660	—	860,660
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	672,323	188,336	860,660	—	860,660
セグメント利益	212,718	47,361	260,079	△241,788	18,291

(注) 1. セグメント利益の調整額△241,788千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	778,776	193,835	972,612	—	972,612
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	778,776	193,835	972,612	—	972,612
セグメント利益	243,518	60,409	303,928	△268,067	35,860

(注) 1. セグメント利益の調整額△268,067千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。